

ロシアのウクライナ侵攻「許さず」 議会決議を採択

ウクライナ侵攻

ロシアが2月24日にウクライナに攻め込み、戦争が始まりました。

ロシア軍は、学校や病院、子どもたちがいる劇場などを無差別に攻撃。このような非人道的な行為は、決して許されるものではありません。

北海道議会としても、代表質問の初日の3月3日に

は、全会一致で「ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議」を可決しました。

今回の戦争では、ウクライナの民間人が1000人以上も犠牲になっているとも言われ、国内外に1000万人以上が避難していると報道されています。

このような非人道的な行為に対し、全世界の国々から非難の声が出されており、ロシアに対する経済制裁もかつてない規模や内容となっています。

また、避難したウクライ

旭川駅前でのウクライナ難民支援募金活動に参加(3月14日)



難民に対する支援の輪は広がりを見せています。

募金に支援の輪

北口道議は、3月14日に



「羊のまち 侍・しべつ」での募金活動

旭川駅前での募金活動に参加、約1時間の活動で47417円の募金が集まりました。

また、3月20日には道の駅「羊のまち 侍・しべつ」でも行い、多くの皆さまにご協力・ご支援をいただきました。この日はわずか1時間の活動でありましたが、29274円の募金が寄せられ、早速、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)を通じてウクライナの難民支援に役立てられます。

ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

北海道はこれまで、国境隣接地域として、また、北方領土問題を抱える地域として、長きにわたり、経済交流や人的交流等を通じて、ロシアとのつながりを深めてきた歴史がある。

しかしながら、2月24日に開始されたロシア軍によるウクライナへの侵略は、明らかに同国の主権及び領土の一体性を侵害し、武力行使を禁ずる国際法の深刻な違反であり、国連憲章の重大な違反であって、断じて許されない行為である。

こうした力による一方的な現状変更は欧州にとどまらず、アジアを含む国際社会の秩序の根幹を揺るがしかねない極めて深刻な事態であり、隣接地域である本道としても看過できるものではない。また、これまで積み上げてきた本道とロシアとの関係を無にしかねない。

よって、北海道議会は、今般のロシアの侵略行為に対し強く非難するとともに、ロシア軍の攻撃停止と即時撤退、及び国際法の遵守を強く求めるものである。

以上、決議する。

北海道議会

第1回定例道議会報告(2月25日~3月24日)

第1回定例道議会は、2月25日(金)に開会。開会日冒頭には、667億円の令和3年度補正予算案の先議を可決。また、代表質問の冒頭には、「ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議」を採択しました。

そして最終日には、令和4年度予算案に対し、私

令和3年度補正予算額				単位：千円
	一般会計	特別会計	合計	
既決予算	3,650,059,162	1,027,675,433	4,677,734,595	
1定冒頭補正	66,706,933	0	66,706,933	
1定最終補正	△77,216,098	34,585,643	△42,630,455	
合計	3,639,549,997	1,062,261,076	4,701,811,073	

令和4年度当初及び補正予算額				単位：千円
	一般会計	特別会計	合計	
既決予算	3,226,214,117	1,038,238,143	4,264,452,260	
1定追加補正	227,205	0	227,205	
合計	3,226,441,322	1,038,238,143	4,264,679,465	

ちの会派としては、予算の組換え動議を提出し、反対しましたが、自民党会派などの賛成で予算は成立しました。

4年度予算は反対

知事は、任期中最終年度の予算のほすなのに、予算からは疲弊した経済をどのように立て直すかといった概が伝わらず、メリハリのない内容になっています。しかも、コロナ対策などで過去5番目の予算規模になったにも関わらず、収支不足は360億円にも上り、23年度以降も300億円を超える収支不足が見込まれ、中長期的な財政健全化の道筋は見通せていません。厳しい財政状況の時こそ、トップとしてのリーダーシップを発揮して、北海道の将来のイメージを道民に示すべきですが、そのことができていません。

よって、私たちは令和4年度予算の組換え動議を提案し、否決されたため予算案には反対しました。

反対討論を展開



第1回定例日の最終日には、「台湾のCPTPP(環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定)参加を積極的に支援するよう求める意見書」が提案されました。

私たちが会派としては、『①北海道農業に影響を及ぼす貿易協定については、これ以上拡大するべきではない、②CPTPPについては、台湾のほか中国、韓国も加盟を求めている、台湾だけを優先すると、米中、日中、中台における安全保障にも重大な影響を与える』ことから、会派会長の北口道議

が反対討論を行いました。賛成多数でこの意見書は可決されました。

来春は定数100で選挙

道議会議員のあり方は、各会派で構成する定数協議会で議論してきましたが、来春の道議会議員選挙については、釧路市を4名から3名に削減、一方、恵庭市を1名から2名に増やすことで合意。今回の見直しにより、一票の格差の及び逆転現象の削減を図ることができそうです。このことにより、来春の道議会の総定数は、現行の100名で選挙が行われることになりました。

ちなみに、上川地域選挙の定数は、現行の3名で変わりません。

採択された決議・意見書

◆ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議 ●台湾のCPTPP(環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定)参加を積極的に支援するよう求める

意見書(わが会派は反対) ●地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書 ●北方四島へのロシア法令に基づく「特恵制度」に対する意見書 ●水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書 ●豪雪地帯における介護事業所への適切な評価を求める意見書

トピックス

▼北京五輪が閉幕直後の2月24日、ロシアがウクライナを攻撃し、戦争状態に突入した。侵攻前から、米国や欧州からの情報で、「ロシアがウクライナを攻撃するのでは」との報道なされていたが、正直まさかと思いき、正しく受け止めることはできない自分もいたのだ。しかし、テレビで映し出される惨状を見たとき、初めて戦争の悲惨さを感じ知らされたのである。▼西国において、如何なる理由があろうとも、どのような事情があっても、武力で攻撃することは許されない。それは、罪もない人々が巻き込まれるからである。ウクライナの戦争でも、子どもや老人、女性など、社会的弱者が被害を受け、祖国を追われ、他国で不自由な難民生活を強いられる。▼私たちは、世界中の平和を願うとともに、このような難民を受け入れ、戦争のない社会を一日も早く実現しなければならぬ。(ゆうこう)